



例会報告

令和5年度総会&ロックバルンシング体験

鹿島市 (2023.4.23)

令和5年度が始まりました。会場の「自然の館ひらたに」にはたくさんの団員さんが集まりました。まずは総会行事として、前年度の例会報告及び決算報告、今年度の年間計画及び予算案を審議し、承認を得ることができました。今年度から団長に佐賀大学名誉教授の門出政則先生が就任され、楽しく科学に親しみましようとおあいさつを頂きました。に年間計画は別紙をご覧ください。今年もドキドキ、ワクワクの例会を計画しています。状況に応じては年間計画を変更することがありますのでご了承ください。また、変更等については例会の前日夜までにホームページで案内します。なお、決算報告及び予算案については10ページをご覧ください。

さて、総会後の例会は「ロックバルンシングに挑戦」です。ロックバルンシングとは、別名ストーンバルンシングや石花とも呼ばれ、岩や石を積み上げるアートのことです。単純素朴なものですが、河原にあるいろんな形をした石をバランスよく積み上げていくところに面白さやスリルがあります。わざわざ今回鹿島の山奥まで集まっていたいただいたのは、この平谷溪谷の河原にとっても面白い形をした石がたくさんあったためです。さっそく各自で積み上げ開始です。高く積み上げていこうとしても、簡単にはいきません。下の石を手で支えながら上の石のバランスを取り、「ここだ!」と思ったところでそっと両手を話していく・・・うまくいったときは感動ものです。せっかく高く積み上げたのにバランスが崩れてしまい、あと一回積み直しという人もいました。一時間程度でしたが、「やったー」「あーあー」の喜びやため息が聞こえ、楽しい時間となりました。最後に、積み上げた石の展示会をして、うまく積み上げているものに投票していきました。もちろん自分に投票してもOKとしました。一位となったのは、子供の部では、下村くん、田中くん兄弟が5票ずつ獲得しました。大人の部では、辻さん(高1)が10票でした。また、一番高く積み上げたのは、子供の部で井上くん(74cm)、大人の部で田栗さん(81cm)でした。おめでとうございました。

実は、ここ平谷を例会の場所としたのはもう一つの理由がありました。それは、カジカガエルの鳴き声を聞きたかったからです。「清流の歌姫」とも呼ばれ、日本固有のカエルで山手の清流にしか生息していません。その鳴き声について、河原に行く前にほかのカエルと聞き比べをしました。アマガエル、ヌマガエル、ツチガエル、アマガエル、ウシガエルなどの「ケロケロ」「ガーガー」「モーモー」などとは明らかに違い、「フィーフィフィフィ・・・」とフルートを吹くような鳴き声で、とてもカエルとは思えないほどの美しさです。河原で鳴き声をうかがったのですが、ここ数日間ずっと天気良かったことも影響してか、残念ながらカジカガエルには出会うことができませんでした。他に県内でもいると思いますので、家族で山へ行かれた時はぜひ耳を傾けてみてはいかがでしょうか。何はともあれ、自然の澄んだ空気と共に楽しい例会となりました。(参加者約50名)

参加者の感想から ※敬称略

田端力崇	入賞こそはできなかったけれども、好きな石を見つけて積んで、とてもいい作品になったとは実感できました。
田中大雅	何度も石が崩れましたが、夢中になって石を積み上げることは結構楽しかったです。
田中陽菜	川の水に手を入れると、冷たくて気持ち良かったです。木や緑の匂いが新鮮で、ポカポカした気持ちになりました。
田中りひと	ぼくは、溶岩石が気に入りました。穴があいていて面白い石です。集めて、たくさん積んだら入賞できてとても嬉しかったです。



たくさんの団員が集合



総会行事



ロックバランス会場に到着



さっそく積み上げていくぞ！



いろんな形があつて積みにくい



数では負けない



両手を使って慎重に・・・



大人も真剣に・・・



いつか無心になっていました